

自然エネルギーの利用



平成29年度の自然エネルギーの利用状況を下表にまとめています。発電した電力は、それぞれのキャンパスで消費しました。附属学校園の太陽光発電設備について

は、40kWは古い設備のため、発電していますが計測はしていません。

平成29年度の自然エネルギーの利用状況

	設置場所	設備容量		H29年度年間発電量
太陽光発電設備	附属図書館	50.0 kW	254.0 kW	54.3MWh
	環境・情報科学館 他8棟	87.0 kW		112.7MWh
	総合研究棟Ⅱ 北駐車場	62.0 kW		67.9MWh
	附属施設農場(高野尾団地)	10.0 kW		13.8MWh
	附属学校園(観音寺団地)	45.0 kW		6.8MWh (計測は5kWのみ)
風力発電設備	地域イノベーション学研究科	1.1 kW	401.1 kW	計測データなし
	ハンドボール場南側	300.0 kW		231.5MWh
	附属施設農場(高野尾団地)	100.0 kW		計測データなし
		合計	655.1kW	487.0MWh

※参考: 1kWは電気ポット約1台分の電力
()書きなはは上浜キャンパス

環境会計★



平成29年度に環境負荷削減や環境配慮の取り組みにより、投入した環境保全コストは504,857千円でした。本学で保管していたポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物★を処分したため、PCB廃棄物の処分費が356,490千円とかなりの割合

を占めています。

また、省エネルギー機器導入により、約816千円の経済効果(光熱費の削減)がありました。

環境保全コスト

分野	金額(千円)	内容
<1>事業エリア内コスト	463,187	
内訳	①公害防止コスト	23,472 排ガス測定、排水処理施設維持管理、水質検査等
	②地球環境保全コスト	12,346 省エネルギー機器への更新
	③資源循環コスト	427,369 廃棄物・実験廃液・PCB廃棄物の処理費
<2>管理活動コスト	40,795	環境マネジメント諸経費、緑化・美化費
<3>環境損傷対応コスト	875	汚染負荷量賦課金
合計	504,857	

環境保全効果

効果の内容	環境保全効果を示す指標			
	指標の分類	H28年度	H29年度	前年度比(%)
①事業活動に投資する資源と温室効果ガス	総エネルギー投入量 (GJ)	480,505	477,025	99.3
	水資源投入量 (千m ³)	416	386	92.8
	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	24,139	23,959	99.3
②事業活動から排出する環境負荷と廃棄物	廃棄物総排出量 (t)	2,142.8	2,068.7	96.5
	総排水量 (千m ³)	653	602	92.2
	窒素酸化物排出量 (DAP)	7.8	7.8	100.0
	硫酸酸化物排出量 (DAP)	2.3	2.3	100.0

環境保全対策に伴う経済効果

項目	内容	金額
省エネルギー機器導入による経済効果	省エネルギー機器の導入・LED、インバータエアコン	約816千円

その他の経済効果

項目	内容	金額
地下水供給プラントによる水道料金削減額	省エネ機器への更新費に充当	約3,360千円

上浜キャンパスの水道水は地下水を浄化して供給していますが、市水単価に比べて地下水供給業者への支払単価の方が安価なため、その差額で毎年省エネ機器更新費用に充てています。

キャンパスクリーン作戦



平成16年度から毎年、環境美化活動の一環として「キャンパスクリーン作戦」を実施しています。この活動は、教職員・学生および本学に常駐する委託業者が参加して、上浜キャンパス内の道路や植え込み、側溝などの清掃活動を行うものです。

開学記念日(5月)、オープンキャンパス(8月)、学園祭(11月)、



ポスター

卒業式(3月)に向けて毎年4回実施しており、学内行事として定着しています。平成29年度は2,044名の参加があり、ごみ・落ち葉・雑草などごみ袋799袋を回収処分しました。



清掃活動(H29.07.21)



清掃活動(H29.11.27)

大学の省エネルギー・スマート化に関する中国との交流会



中国では大学の省エネへの取り組みは国家レベルの重点項目に挙げられています。一般財団法人省エネルギーセンターは経済産業省から委託され、平成30年6月に省エネ普及のための活動支援として、大学の省エネ活動、管理に関する講演会を雲南省昆明市で行い、名古屋大学と三重大学が日本の大学のスマート化について講演し現地での交流を行いました。

このセミナーには大学の省エネの実践の関係者が参加しており、日本の先進的な大学の省エネの考え方と概念、取り組み方法などを先方に提示することで普及を支援する機会となり、併せて日本の大学の優れた取り組みへの認識を

高めることができました。

中国側の主な参加者は国家節能中心、教育後勤協会や教員など79名でした。



セミナーに出席された中国の皆さん(H30.06.21)



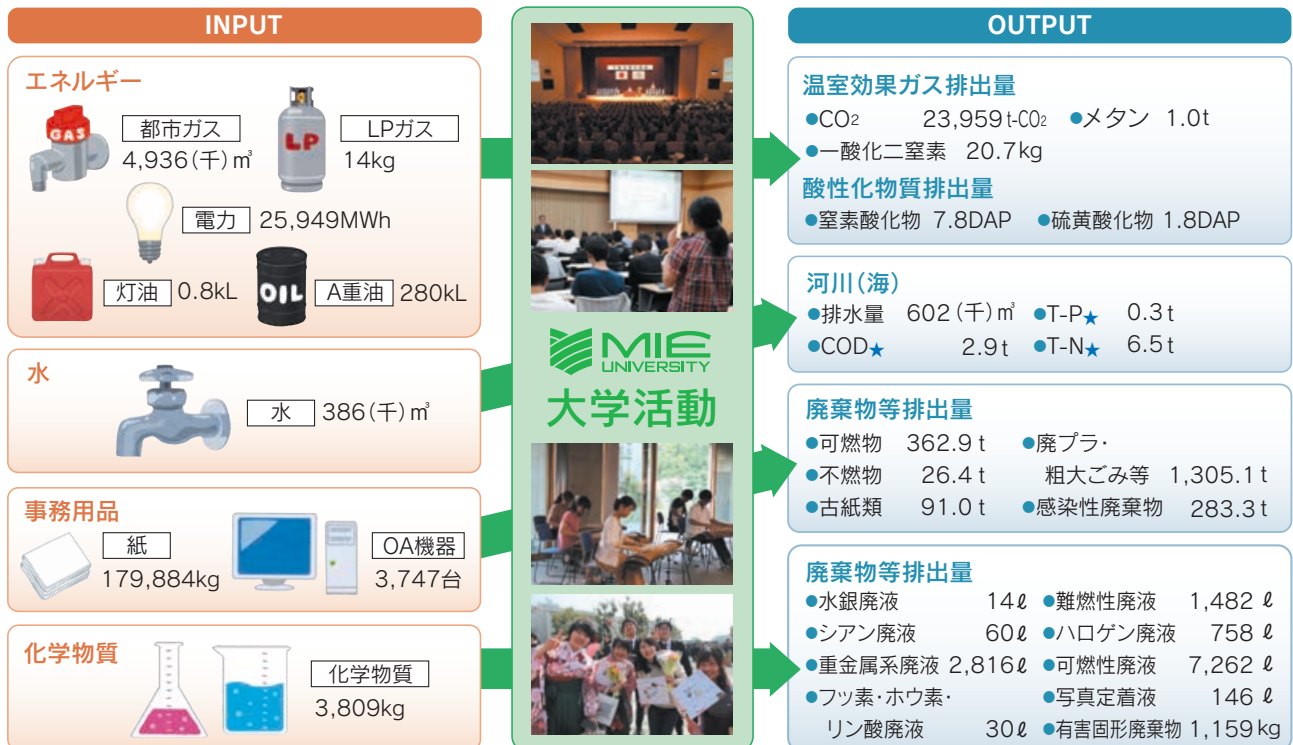
三重大学(坂内客員教授)の発表(H30.06.21)

マテリアルバランス



環境負荷の削減活動を進めるために、上浜キャンパスの事業活動(教育・研究・診療・社会貢献)に使用する資源・エネルギー量を測定し、発生する環境負荷の種類・量など各種

データの集計・分析を行っています。データを正しく把握することで、省エネ・省資源に努めています。



マテリアルバランス(平成29年度実績)

★のマークの解説はP72.P73の用語解説をご覧ください